

キャンプインストラクター養成講習会



(公財) 大阪 YMCA は
日本キャンプ協会課程認定団体

Wilderness Education Association Japan 団体メンバー

Leave No Trace Japan 団体エデュケーショナルメンバーです

特徴

- ・指導者養成団体が実施する、野外、環境、安全の専門指導者による講習です
- ・事前学習のない3日間の集中講習です
- ・テント泊や炊事、トレッキングなどの実践を通じて、指導者としての知識や技術を身につけます
- ・六甲最高峰(931m) 経由有馬温泉まで(12km)のトレッキングで六甲山の自然を満喫します
- ・(公社) 日本キャンプ協会キャンプインストラクター資格を取得します^{*A}
- ・環境倫理プログラム(NPO) Leave No Trace Awareness Workshop 修了証を取得します^{*B}
- ・野外指導者養成プログラム Wilderness Education Association Outdoor Leader Experience^{*C}を取得します
- ・受講後は救急法やリープノートレイス講習の案内や指導機会の提供、D2、D1 取得への支援をします

開催要項

主催：(公財) 大阪 YMCA ウェルネス事業本部

後援：(公社) 日本キャンプ協会

日時：2023年9月16日(土) 10時集合～18日(祝) 18時解散 2泊3日

場所：大阪 YMCA 六甲山 YMCA 兵庫県神戸市灘区六甲山町北六甲 875 Tel.078-891-0050

対象：キャンプや自然体験活動の指導者を志す 18歳以上の方

内容：*A キャンプインストラクター養成 — (公社) 日本キャンプ協会

1.理論 キャンプの特性、キャンプの対象、キャンプの指導、キャンプの安全

2.実技 様々なアクティビティ、キャンプの生活技術、キャンプの安全

*B アウトドアリーダーエクスペリエンス — (社) Wilderness Education Association Japan
国際基準の野外スキル(WEA6+1)の体験と理解 A-2.を通して

*C リープノートレイスアウェアネスワークショップ — (NPO) Leave No Trace

リープノートレイスの理解とプログラム体験 事前準備、A-1., 2., 講習全体を通して

定員：20名(先着順)

受講料：22,000円

内訳) 指導料、装備一式使用料、食材費(昼1・夕2)、消耗品、宿泊費、保険料

テキスト：「キャンプ指導者入門」第5版(公社) 日本キャンプ協会編 2,200円

諸経費：15,300円(キャンプインストラクター資格登録費用)

内訳) 受験料 1,100円、公認料 1,100円、登録料 1,100円、入会金 5,000円、

年会費・日本協会 3,000円、都道府県協会 2,000円、事務手数料 2,000円)

資格など：すべてのカリキュラムを十分に修了し/すると

*A 修了試験に合格するとキャンプインストラクター資格が取得できます

*B (社) WEAJ の Outdoor Leader Experience に認定され、1年間の WEAJ の準会員の権利(実質 5,000円の価値)が得られます

*C (NPO) Leave No Trace 認定の Awareness Workshop 修了証を取得できます

資格継続：*A 資格継続には毎年度の更新が必要です。

年会費 3,000円+更新料 1,000円+税+都道府県協会費 2,000円=6,000円+税

申込締切：2023年9月1日(金) 17時 お申込み受付後にテキストを郵送します

キャンセル：キャンセル規定を設けています。申込時にご確認ください

申込方法：開催要項認後、専用申込フォームよりお申し込みください

アクセス：最も便利なアクセスは自家用車になります

【自家用車】六甲山YMCA 駐車場をご利用いただけます（無料）

カーナビゲーションで六甲山YMCA を検索してください

六甲山南側から来られる場合、以下ご注意ください

旧六甲有料道路・表六甲線→丁字ヶ辻・右折 100m 左側にYMCA 看板があります

※旧六甲有料道路入り口には「有料道路」とありますが途中まで無料です

※六甲山頂と三田・有馬の分岐では、左方向 六甲山頂 へお進みください

※トンネルに入ると有料道路で道間違えです。その場合は裏六甲線で六甲山上へ来れます

【タクシー】公共交通機関でお越しの方は、阪急六甲駅からタクシーの利用をおすすめします

最寄 阪急六甲駅～六甲山YMCA 約 25 分 2,600 円～3,300 円程度

【バス・ケーブルカー】午前 10 時の集合時間に間に合うよう事前に各運行会社で料金、時刻表をご確認ください

バス：16 系統（神戸市） 六甲ケーブル下行 阪急六甲駅→六甲ケーブル駅下 210 円

ケーブルカー：六甲ケーブル下駅→六甲ケーブル山上駅 1,200 円

山上バス 六甲摩耶スカイシャトルバス：六甲山上駅→丁字ヶ辻バス停車 200 円

丁字ヶ辻バス停から六甲山YMCA まで徒歩 1 分

- 撮影について：
- ・講習中の様子を講師が撮影し、YMCA、日本キャンプ協会、Leave No Trace Japan、Wilderness Education Association Japan の広報に利用する場合があります
 - ・受講者の皆様の撮影については全員の同意が得られた場合可能とします
 - ・講習の全録画、全録音、リアルタイムでの SNS 等アップは禁止します

- ルールとマナー：
- ・講習会中は終日禁煙です
 - ・講習会中の外出は原則できません
 - ・指導者にふさわしい言動をお願いいたします

- 宿 泊：
- ・宿泊はテント泊になります。装備一式をご利用いただけます。
 - ・寝袋、マットをお持ちの方は持参して自分のものをご利用いただいて結構です
 - ・タオル、歯ブラシ等は持参してください

- 入 浴：
- ・シャワールームをご利用いただけます
 - ・リンスインシャンプー、ボディソープ、ドライヤーが備え付けであります
 - ・2 日目トレッキング後の有馬温泉での入浴も可能です（希望者各自で）

- そ の 他：
- ・スマートフォン等電波状況は ドコモ◎ au○ Softbank△ です
 - ・周辺には小さな商店が 1 軒ある以外、コンビニエンスストアなどはありません
 - ・キャンプの事前準備、キャンプ中の行動は Leave No Trace の 7 つの原理を参考にします。

- 食 事：
- ・1 日目昼食（飲み物含む）は、持参になります。お弁当と飲み物を持参してください
 - ・1 日目夕食は、グループ調理（カレー、白米、その他）となります。材料は提供します
 - ・2 日目昼食、夕食は提供します
 - ・2、3 日目朝食はソロクッキング（自炊）となります。食材、調味料等全てご持参ください
 - ・シングルバーナー、ガス、コッヘル（1～2 人用の鍋）を貸し出します。お持ちの方は持参して自分のものをご利用いただいて結構です
 - ・おいしく必要なカロリーが摂取でき、調理が簡単で、環境への負荷がミニマムになることを考えて、メニューと食材を決めてください。なるべくコッヘル 1 つで調理できると良いですが、お湯だけ沸かしてレトルトだけ、カップラーメンだけ、缶詰めだけはご遠慮ください
 - ・水道はあります／水汲みには持参するナルゲンボトル等を利用してください
 - ・保冷が必要な食材は、施設内冷蔵庫をご利用いただけます。記名したビニール袋などをご準備ください

- ・お茶、コーヒー等の飲み物をご持参ください。講習中は電気ポットのお湯をご利用いただけます。ただし、持参する食材と同じく、ごみを出さない／減らす／適切に処理することを考慮したものをお選びください
- ・3日目トレッキング中の昼食はトレイルフードとなります。トレッキング中に補給する栄養価が高く、軽量で腐りにくいもの（エネルギーゼリー、アメ、塩分タブレット等）をご準備ください

食事一覧

	1日目	2日目	3日目
朝食	-	自炊 (持参)	自炊 (持参)
昼食	弁当 (持参)	給食 (提供)	トレイルフード (持参)
夕食	自炊 (提供)	自炊 (提供)	

参考：食材の購入・食事作り、メニュー例については、事前に以下の動画（QRコードより）をご覧になり参考にしてください。いずれも Leave No Trace の7原則に沿ったものです

ゴミを出さないために

[#3 キャンプゴミの処理](#)

[キャンプでゴミを出さない処理の方法](#)



参考メニュー

[トマトソースパスタの作り方](#)



[ホワイトソースパスタの作り方](#)



[パンの作り方](#)



[おかゆの作り方](#)



上記以外でも大丈夫です。「山飯」等で検索すると情報を得ることができます

持ち物：キャンプ指導者としてふさわしい服装、装備をご準備ください

✓	品目	備考
	テキスト「キャンプ指導者入門」	事前に郵送したもの
	帽子	雨天時はキャップが便利です。つばがあるものを
	Tシャツ（半そで）	トレッキングでは着替えが必要となります
	長袖シャツ	
	トレッキング用長ズボン	
	トレッキング用靴下	ない場合は通常の靴下で
	靴下	
	トレッキングシューズ（運動靴可）	ハイカットでなくても大丈夫です
	リュックサック（小）	トレッキングの際に荷物をいれて使います
	雨具（上下セパレート）	
	ヘッドライト（予備バッテリー含む）	両手が使えるヘッドライトが望ましいです
	軍手	野外炊事用 綿 100% 滑り止めゴムのないもの
	防寒着	標高 800 程の場所で活動します フリース、薄手ダウン等
	筆記用具	
	スマートフォン	
	スマートフォン用バッテリー	
	タオル	
	洗面用具	リンスインシャンプー、ボディーソープはあります
	ロープ（長さ 2m,太さ 6mm 以上）	ロープワーク用
	ビニール袋 45ℓ	荷物の防水やごみ入れに
	ジップロック（S,M,L）	トレイルフードを入れたりします
	1ℓ以上のウォーターボトル	ナルゲンボトルがのぞましい
	ファーストエイドキット	
	マッチ（ライター）	
	布巾	
	雑巾	
	ナイフ（調理用）	朝食作り用
	まな板	
	はし	割りばしではないものが望ましい
	フォーク	
	スプーン	
	ゴムへら	
	食器（お皿、お椀など）	朝食用
	弁当（1日目昼食）	必ずご持参ください
	自炊食材・調味料（2,3日目朝食）	前述の資料を確認の上ご持参ください
	トレイルフード（トレッキング昼食）	前述の資料を確認の上ご持参ください
	保険証	
	受講料、テキスト代、登録料	受講料 22,000 円 テキスト 2,200 円 ※現金のみ 釣銭のないように 登録 15,300 円 合計 39,500 円
	交通費	ロープウェー1,030 円 バス 220 円 ※IC カード使えません

※その他、必要と思うものがあればご持参ください

以下のサイト（動画）を必ずご覧になり、その上で各自工夫してご準備ください

[【#1 キャンプの準備の仕方】](#)

[登山やキャンプの事前の計画と準備の仕方](#)

[【#2 登山とテント泊】](#)

[自然に影響の少ない山の登り方とテントの張り方](#)



プログラム（予定）

1日目 9月16日（土） 日出：05:42:24 AM 日入：06:05:49 PM 月齢：1.1 月出：06:29AM 月入 06:44PM		
10:00	集合・受付 開講式 オリエンテーション 人間関係作り 環境倫理	実技【さまざまなアクティビティ】（1.5） ・アイスブレイク ・ASE 理論【キャンプの特性】（0.5） ・環境倫理
12:00	昼食（持参弁当）	
13:00	講義「キャンプの特性」	理論【キャンプの特性】（1.5） ・意義、目的、歴史 ・現代社会とキャンプ ・体験学習法
15:00	生活環境づくり（テントサイト）	実技【キャンプの生活技術】（1.5） ・ロープワーク ・テント設営
16:30	野外炊事	実技【キャンプの生活技術】（1.5） ・野外炊事
18:30	夕食 片付け	理論【キャンプの指導】（0.5） 理論【キャンプの安全】（0.5） 実技【キャンプの安全】（0.5） ・危険予知とその対処
19:30	情報交換会	実技【さまざまなアクティビティ】（0.5） 理論【キャンプの安全】（0.5） ・キャンプファイヤー
20:30	入浴	
21:30	就寝（テント泊）	

※天候等により予定を変更する場合があります

プログラム（予定）

2日目 9月17日（日） 日出：05:43:07 AM 日入：06:04:23 PM 月齢：2.1 月出：07:26AM 月入 07:07PM		
6:00	起床 野外炊事	実技【キャンプの生活技術】（1.0） ・ 野外炊事 ・ テント撤収
7:30	朝食 片付け	
9:00	講義「キャンプの対象」	理論【キャンプの対象】（2.5）
12:00	昼食	
13:00	講義・演習「キャンプの指導」	理論【キャンプの指導】（2.0）
15:00	生活環境づくり（オフサイト） テント設営	実技【キャンプの生活技術】（0.5） 理論【キャンプの指導】（1.0） ・ ロープワーク ・ テント設営 ・ 野外炊事
16:30	野外炊事	実技【キャンプの生活技術】（1.5） ・ 野外炊事
18:30	夕食 片付け	理論【キャンプの指導】（0.5） 理論【キャンプの安全】（0.5） 実技【キャンプの安全】（0.5）
19:30	ミーティング	
20:30	入浴	
21:30	就寝（テント泊）	

※天候等により予定を変更する場合があります

プログラム (予定)

3日目 9月18日(祝) 日出：05:43:50 AM 日入：06:02:57 PM 月齢：3.1 月出：08:24AM 月入 07:33PM		
5:00	起床 朝食 撤収	実技【キャンプの生活技術】(1.0) ・ 野外炊事 ・ テント撤収
8:00	トレッキング出発	指導・環境・安全総合演習 実技【さまざまなアクティビティ】(4.0) ・ トレッキング
11:00	六甲山最高峰 行動食	理論【キャンプの指導】(0.5)
13:00	有馬温泉着 自由時間	理論【キャンプの対象】(0.5) 実技【キャンプの安全】(1.0)
15:10	有馬温泉ロープウェー駅発	
15:22	山頂駅着 山頂駅バス発	
15:43	記念碑台下車	
15:50	六甲山YMCA 着 休憩	
16:15	修了試験	筆記試験 30 問／1 時間
16:45	事務手続き 閉校式	
18:00	終了	

※天候等により予定を変更する場合があります

LNT 7 原則



原則1 事前の計画と準備 (Plan ahead and prepare)

- ・行き先のルールや注意することを知ろう
- ・悪天候や緊急時に備えよう
- ・ピークシーズンや混雑する時間帯を避けよう
- ・できるかぎり少人数のグループで活動しよう
- ・できる限りゴミが少なくなるようにパッキングしよう
- ・標識に頼らずに地図とコンパスを使おう

原則2 影響の少ない場所での活動 (Travel and camp on durable surfaces)

- ・指定地、岩、砂、雪、乾いた草など頑丈な土地の上で活動しよう
 - ・キャンプサイトは水辺から60m以上離れたところを見つけよう
 - ・よいキャンプサイトは作るのではなく見つけよう
- よく使われている場所では
- ・指定のトレイルやテントサイトを利用しよう
 - ・トレイルがドロドロでも真ん中を歩こう
 - ・キャンプサイトは植生が少ない場所にできる限り小さく設営しよう
- ほとんど使われていない場所では
- ・人が入っていないところではキャンプサイトや歩行を分散させよう
 - ・インパクトが始まりかけた場所は避けよう

原則3 ゴミの適切な処理 (Dispose of waste properly)

- ・すべてのゴミや食べかすを持ち帰ろう
- ・キャンプサイトや休憩場所を離れる時にゴミを確認しよう
- ・トイレは水辺、テントサイト、トレイルから60m離れたところを見つけよう
- ・トイレは20cm程度穴を掘って行き、終わったらしっかり埋めよう
- ・トイレトペーパーは持ち帰ろう
- ・食器は水辺から60m離れたところで、必要最小限の天然洗剤で洗おう
- ・食べかすはこし網で取り除こう

原則4 見たものはそのままに (Leave what you find)

- ・文化的、歴史的遺跡は触れずに見るだけにしよう
- ・石、植物等すべての自然物は置いて帰ろう
- ・外来生物を運んだり、持ち込んだりするのを避けよう
- ・木で何かを作ったり穴を掘ったりしないようにしよう
- ・キャンプサイトはもとどおりにしてから出発しよう

原則5 最小限のたき火の影響 (Minimize campfire impacts)

- ・できる限りストーブを使うようにしよう
- ・たき火をするときは焚き火台やマウンドファイヤーを使おう
- ・たき火の大きさは必要最小限にしよう
- ・薪には手で折れる程度の落ちている枝だけを使おう
- ・すべての薪が灰になるまで燃やそう
- ・灰は完全に消火してからバラまこう

原則6 野生動物の尊重 (Respect wildlife)

- ・野生動物は遠くから観察しよう
- ・野生動物にエサをあげないようにしよう
- ・食べ物に野生動物が近づかないようにしよう
- ・ペットはいつもつないでおくか、家に置いてこよう
- ・子育てや巣作りなどをしている野生動物には近づかないようにしよう

原則7 他のビジターへの配慮 (Be considerate of other visitors)

- ・他のビジターの体験の質を保とう
- ・他のビジターとスペースを譲り合おう
- ・他のビジターとすれ違うときは登りの人を優先しよう
- ・キャンプや休憩はトレイルから離れて行おう
- ・自然を静かに楽しもう